

スリットブレードご使用時の注意事項

拝啓

貴社ますますご清栄の段、大慶に存じます。又、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
表記案件につきまして以下に詳細をご報告させていただきます。ご迷惑おかけいたしますことをお詫び申し上げます。
敬具

はじめに

非接触セットアップ搭載機において、通常のスリット無しブレードとスリットブレードとを併用されるお客様に、ブレード交換時の注意事項をお知らせするものです。

対象となる装置

300 シリーズ、500 シリーズ、3000 シリーズ、6000 シリーズ

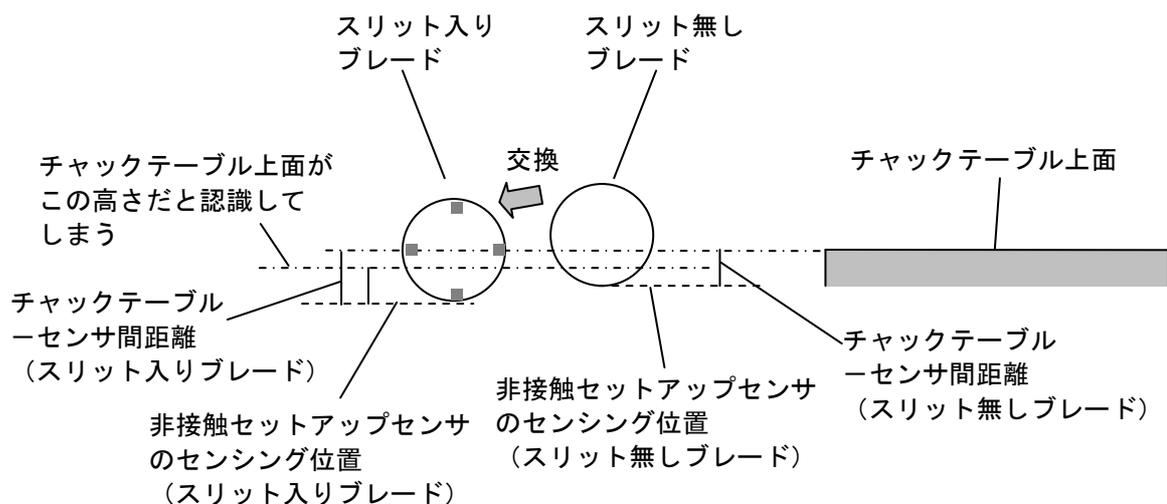
スリットブレード併用時の注意事項

スリット入りブレードからスリット無しブレードを交換した場合、またはその逆の場合、必ずセンサ位置合わせセットアップを実行してください。

スリット入りブレードの非接触セットアップセンシング位置は、スリット無しブレードの非接触セットアップセンシング位置より低くなる傾向にあります。そのため、非接触セットアップしか実行しなかった場合、ブレードがチャックテーブルに切り込んだり、浅切りとなってしまうおそれがあります。

【スリット無しブレードからスリット入りブレードに交換したとき】

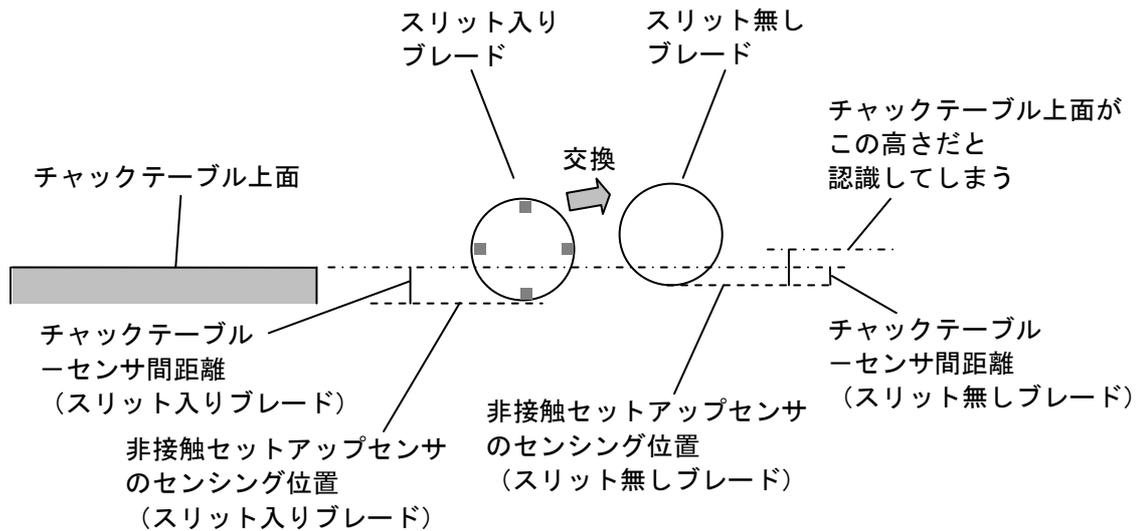
ブレード交換後に非接触セットアップしか実行しなかった場合、チャックテーブル上面位置を実際の位置より低く認識し、カット時にブレードがチャックテーブルに切り込むおそれがあります。



スリットブレード併用時の注意事項（つづき）

【スリット入りブレードからスリット無しブレードに交換したとき】

ブレード交換後に非接触セットアップしか実行しなかった場合、チャックテーブル上面位置を実際の位置より高く認識し、浅切りとなるおそれがあります。



スリットブレード交換時の注意事項

スリット入りブレードからスリット入りブレードへ交換する場合でも、スリット形状が異なる場合は、ブレード交換後に必ずセンサ位置合わせセットアップを実行してください。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、弊社営業担当またはサービス拠点までお願いいたします。
